

令和6年度用「Vision Quest 論理と表現 II Ace WORKBOOK」の内容につきまして、以下のように訂正いたします。
ご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

本体

訂正箇所		原 文	訂 正 文
頁	問		
12	B 参	参 句と節のまとめ 1-3	参 F 016, 句と節のまとめ 1-3
56	177	私たちは <u>情報化時代</u> と呼ばれる時代に生きています。	私たちは <u>いわゆる情報化時代</u> に生きています。
72	220-b	Take as many as you like.	Take <u>as many as</u> you like.
104		As everyone knows	As everyone knows,
105		However / <u>Although</u> ,	However,

解答編

訂正箇所		原 文	訂 正 文
頁	問		
8	2-1 解説	〈It is ... that S' + V〉「S'が V'するのは…だ」を使う。真主語は that 節である。	〈It is ... for A to do〉「A がするのは…だ」を使う。真主語は to 不定詞である。
8	3-5	Her story brought tears to my eyes.	Her story brought [brings] tears to my eyes.
8	3-5 解説	「彼女の話を聞いて涙が出た。」	「彼女の話を聞いて涙が出た <u>[出る]</u> 。」
8	3-5 解説	=Her story made me cry.	=Her story made [makes] me cry.
21	3 解説	これらの副詞は原則として「be 動詞の前, それ以外の一般動詞の後」に置く。	これらの副詞は原則として「be 動詞の後, それ以外の一般動詞の前」に置く。
29	3	I always have to [must] prepare for the next class.	I <u>always have to [must always]</u> prepare for the next class.
54	172 解説	S…すべきだと提案する	S <u>は</u> …すべきだと提案する
54	177	私たちは <u>情報化時代</u> と呼ばれる時代に生きています。	私たちは <u>いわゆる情報化時代</u> に生きています。